

イースターはイエス様が命をかけて下さり復活して重荷を取り去ってくれたクリスマス以上に素晴らしい日です。私達の心の中には不安と比較、恐れと葛藤があります。人は自分が失敗しない様に生きようとするので、恥をかかされるとつらいし、恐れがあります。一方飛行機は人がミスをする前提で作られているので、事故を起こしにくく4800年に1回しか事故が起きません。人がミスしても修正するように作ってあります。新幹線も同じで人が操縦するとミスを起こすという事が前提に作られ、ミスを行ってもいいようにコンピュータ制御されています。これだけを見ても「失敗しないように生きる」という心は私たちの人生にとってプラスには働かないことが理解できます。人はどのように歩むべきなのか聖書はなんと言っているのでしょうか。

### ■ 聖書が伝えている事

実は聖書も人は失敗するという事を伝えています。エデンの園でアダムとエバは誘惑に負けてしまって失敗してしまいました。そして、失敗した事を素直に認められないのも人間です。本当はごめんなさいと言いたいのに言えない、悪かったと思っているのにあなたが悪いと言ってしまうのが人間です。それを神様はわかっています。世の中の宗教は失敗しない為に修行をします。私はいつも笑っています。人間はいつも笑っていられないから木の像にしました。でも、聖書は違います。人間が出来ないから、神様がわざわざ犠牲を払ってその道を歩んで自分が死んだのです。人が失敗するのを想定して、あなたが失敗する事を私が引き受けると言ってくれたのです。

### ■ 神様の方法

イエス＝キリストがどんな気持ちで十字架に進んだのか。人に何を言われても、裏切られても、傷つけられ蔑まれても、その道を黙って進んでいきました。鞭打たれ、裸にされ、血だらけになり十字架を背負い進みゆかれて、そして十字架の上で彼らの罪を許して下さい、彼らは何をしているのかわからないのですと言われました。私達が生まれながらに心の中に持っている人と比較する心、憎む心、人を否定し自らを否定する心、偽りの心を内側から取り去る為に神様がとった方法は、人に失敗すると言う事ではありませんでした。あなたはこの道を歩んでしまうかもしれない、でもその時にあなたは自分を責めてはいけません。隣人に裏切られるかもしれない、でも裏切った人に対しても指さしてもいけない。私がその人の罪や痛みを背負うから、あなたが受け取るべき慰めを私が与えるから、あなたはそれをしてはいけません。その思いを持って成したのが十字架であり、神様の計画なのです。

### ■ 隔ての壁を破る

キリストが十字架に上がり、わが神わが神どうして私をお見捨てになったのですかと言われた時、神殿の幕が裂けました。これは神と人間との隔ての壁が神殿の幕が裂けると言う事を通して象徴的に私達の心の隔ての壁を壊したのです。ドイツの中にあつたベルリンの壁が壊されたように私達の心の中にある自らを否定する心に裂け目を与えられました。ナチスドイツの下では、壁を越えようとした大人でも子どもでも見つかったら殺されました。でもそれはナチスドイツという特別な人達がやった事だと思わないで下さい。いつも私達が心の中でやっている行動なのです。人の事を指さし少しでも良くならうとする者を引っ張り込み、自らより低い者を見下し、自らより少し幸せになると羨み憎しみ自らを否定する。その行為に対してキリストがとった行動は全ての行為を自分が背負うという事だったのでした。

### ■ キリストには変えられません ① 生きる試練

今皆さんの心の中にはどんな思いがあるのでしょうか？キリストには変えられません。この事を私たちは忘れてしまいます。イエス様が何の為に十字架にかかったのかもう一度思い起こして下さい。私達にはいつも自分に目を向けてしまう心があります。あなたはどこを見ていますか？年に一度このイースターは自らに目を向けるのを辞める日です。どんな事を思いながら皆さんは生きていますか？どんな事を考えて夜休みますか？人生を生きる中で試練があるならイザヤ 53章 1～6のみ言葉を思い出して下さい。イエス様は光も当たらない洞窟の中にある馬小屋で生まれ、ヘロデ王が死ぬまで命を狙われ逃げる生活を送りました。大工も大変な重労働でした。公生涯が始まってからも、荒野で40日の試練を受け、人々から裏切られ、けなされ、最後33歳で十字架に貼り付けにされました。なぜわざわざこんな道を選ばないといけなかったのでしょうか？あなたは罪人だという為ですか？そうではないのです。人が痛みの中で生まれ、育ち、人から差別され比較されて生きる事の痛みを知る為にイエス様はその道を通られたのです。今日はその事を神様の前に感じる日です。今、皆さんが生きる中で問題があると思います。もし、その問題の中にうずもれていけば解決しないかもしれません。でも、キリストの苦難の道に照らしあわせて、どうその中でイエス様は生きてきたのか学ぶ事が出来れば私達の試練に対する見方は変えられま

す。問題をどう見るかで問題にもなるし、奇跡にもなるのです。自分がどうしてこんな目に合わないといけないのかという感情があると思います。試練の中で負けて埋もれてしまえばそれだけですが、試練はイエス様がどう生きたのかを思い出し、考えるチャンスなのです。あなたの為にあなたの人生を背負って代わって死んだ人がいる事を忘れてはいけません。歴史はそれを受け継いでいます。今、生活に困らずに生きているのは犠牲と痛みの連続で継承されたものを受け継いでいるからなのです。私達の世代は許さないものを刈り取る世代だと神様は言われます。目の前には刈り取るばかりの収穫があるのに、私たちの目は収穫ではなく、私にはこれがない、あの人にはあるのにと不足に向けてしまいがちです。でも、あなたに不足があるなら、それはあなたが失敗して上手くいかなかったからではなく、神の栄光がそこに現れる為、その事を通してあなたが祝福される為なのです。イエス様は盲人に対して、目が見えないのは、誰の罪でもなく神の栄光が現れる為だと言われました。これを忘れてはいけません。収穫は多いが働き手が少ないのです。今、私達の目の前にある、刈り取るだけになっていく実があり、それはあなたのものであると神様は言われているのに、そうではないと思って、食べられないものだと思って刈り取ろうとしないのです。刈り取るのが大変だから、でも、それを選ぶ事が出来れば変わります。その為にキリストは試練の道を通られたのですから。「キリストにはかえられません」この曲を作った人は牧師の家庭に生まれましたが、色々な事が起こり、中学生の時に神様を信じる事を辞めてしまい非行の道に進んでしまいました。しかし、22歳の時に試練を通して教会に戻りこの詩に曲をつけたのです。彼は12歳の時に失敗しましたが、失敗したまま生きない様に母は祈り続け、彼を怒る事をせずにこの曲の歌詞を彼のピアノに置いていました。私達はいつも人間的に何かをしようとしてしまいます。でもイエス様が十字架の上でした事は何かを伝えるのではなく「父よ、彼らを許して下さい、彼らは何をしているのかわからないのです」と祈られただけです。母もその様に我が子の為に祈り続けたのです。そして、ある時、彼の心は変えられ、その変化は一人で終わらず多くの人に影響を与え、多くの人を変えていったのです。

### ② エリエリサバクタニ

#### (どうして私をお見捨てになったのですか)

これは、イエス様が十字架の上で語った言葉です。私達の心の中にはいつもこの裏切られる恐れがあります。心が何かに苛まれてくるのは恐ろしい事です。才能があったとしても腐ってしまいます。神様はもうあなたが裏切られる恐れに生きなくていいという事を教えたかったのです。もう、私達の代わりに裏切られた方がいるので、裏切られても大丈夫。私達を裏切らない人、離さない人（イエス様）がいるから大丈夫なのです。

### ③ 信じる事と赦す事

人と比較が心の中に潜んでいて人を受け入れる事が出来ないの、私達はなかなか人を信じる事が出来ません。でも出来る事があります。信じようとする、赦そうとする事です。イエス様の犠牲を知って心が変わっていきば何が変わっていきます。でも、そのままだったら次の世代にそれが残ってしまいます。アフリカに起きた内戦の中で自分の腕を切って門に血を塗ると言う犠牲を払う事で国を守った人がいました。その生き方を通してその国は変えられて行きキリスト教の国になりました。なぜ彼は犠牲を払う事が出来たのでしょうか。それはイエス様がした事だからです。今までと同じ生き方を選ぶか、どちらを選ぶかはあなた次第です。問題が起こり、目の前に自分より幸せな人がいる、又不幸な人がいる。その時、妬み嫉妬したり赦さずに生きるなら、又見下したりすれば十字架は無駄になってしまいます。自分にとって十字架が奇跡となるか、関係ないものになるかは自分自身の決断です。目の前にある問題を通してする決断が、あなたとあなたの周りの祝福となります。自分がいつも祈られている事を覚えていて下さい。信じる事も赦す事も出来なければイエス様の十字架は犠牲だけに終わってしまいます

### まとめ

それゆえ、私は多くの人々を彼に分け与え、彼は強者達を分捕り物として分かちとる。彼が自分の命を死に明け渡し、背いた人達と共に赦えられたからである。彼は多くの人の罪を負い、背いた人達の為にとりなしをする。(イザヤ 53; 12)